

私のおすすめスポット

会員 星 恵子（新潟市在住）

今年の5月に入会しました。皆様よろしくお願いします。

私の「おすすめスポット」は、ラムサール条約湿地の「佐潟」とその北の新潟砂丘地の最高地点に作られた「見晴らしの丘展望台」です。

佐潟には、オニバスやミズアオイなどをはじめとして多くの植物が生育しています。また、渡り鳥の越冬地として知られており、冬には白鳥やカモ類が多く訪れています。夏にはオオヨシキリやカワセミと遭遇することもあります。昨夏、佐潟をウォーキング中に思いがけず、カワセミを見かけました。その鮮やかな青緑とオレンジ色が今でも目に焼き付いています。感動の一瞬でした。

私は佐潟水鳥・湿地センターから臨む、角田山を背景にした佐潟の景色が好きです。佐潟は春夏秋冬それぞれの季節に、それぞれの表情を見せてくれます。

「見晴らしの丘展望台」は、砂丘ウォーキングコースにある展望台です。標高50mを超える展望台は360度の素晴らしいパノラマで、この付近の今まで見たことのない景色を楽しめます。

皆様も、四季折々の佐潟を尋ね、そこから見晴らしの丘展望台まで少し足をのばしてみたいはいかがですか。



出典：新潟市HP

現場見学会

○日 時：平成30年10月9日(火) 13：30～16：00

○参加者：48名

○行 程：資料館4F（30分説明）⇒ 大河津分水路右岸2.0k～4.0k付近①蒲原用水路工事②島崎川樋管・排水機場改築工事 ⇒ ③大河津分水路左岸山間部掘削工事（車中より）⇒ 第二床固（右岸7.8k付近）④工事概要看板にて説明 ⇒ ⑤新野積橋橋台工事 ⇒ ⑥河口部掘削工事

ここ数年、行なっていなかった現場見学会を久しぶりに開催しました。大河津分水路改修事業が着々と進んでいる現場を信濃川河川事務所 計画課の寺田課長に詳しくお話していただきました。募集人数は20名でしたが、はるかに上回る申込みがありましたのでバスをもう一台増やしたほどの大人気。皆さんとても高い関心を持っていることがうかがい知れます。来年度も開催できればと思っていますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。



蒲原用水路工事現場



島崎川樋管・排水機場
改築工事現場



工事概要看板（第二床固）



新野積橋橋台工事現場

パナマ運河と大河津分水

☆人々が長い間求め続けてきた故に、手にすることができた。☆

このたび、10月14日を皮切りに、大河津資料館では、「パナマ運河と大河津分水路」と題する展示（主催 信濃川河川事務所）を始めた。そもそもパナマ運河といえば、太平洋の向こうにあるのに、どうしてこのような企画をやるのか。いや実は、パナマ運河と大河津分水とは、大変に深い縁があるのだ。ここでは、この展示を行ったいきさつ、そしてそこから学んだことを皆様を紹介したいと思うのである。

パナマ運河では、かねて進めていた拡張工事が2016年に完成したというニュースが入ってきた。なんと、わが大河津分水路も拡張工事の起工式を3月に挙げたばかりではないか。調べてみると、パナマ運河と大河津分水とは似ている点がまだある。完成年はパナマ運河では1914年、大河津分水では分水路に最初に通水した年で1922年、等々である。もちろん違いも多い。これはよく調べれば、展示イベントになる、というのが始まりであった。なお、実行にあたっては、友の会では少し荷が重い。つまり友の会では資料館の運営補助業務をやらせてもらってはいるものの、資料館内の展示を大きく手掛けるのは難しい。そこで、この展示の開催には、ご同意により信濃川河川事務所に主催をお願いし、友の会は協力という役割に回ったのである。

ところで、作業を進めるうちに、パナマ運河と大河津分水との似ている点に一つ気が付いた。そして、これは大事と思われるので、以下に紹介したい。

パナマ運河のあるところはパナマ地峡と呼ばれる両側が海の狭いところである。大西洋側からやってきて、初めてパナマ地峡を越えて、太平洋を見た人（すなわち西洋人）はスペイン人バルボア（1513年）であったという。それ以来、ここに運河を掘ればよい、と考えた人はかなりいた。多くは王侯貴族といった人達であり、この時代南米ペルーには金をはじめ宝物が多くあり、これをヨーロッパに持って来るのに運河があればよいという考え方である。それが19世紀の中ごろアメリカのカリフォルニアに金が発見されると、ゴールドラッシュが始まり、アメリカの東海岸から沢山の人が西へ向かった。当初は幌馬車等で西を目指したが、危険が多く、多くの人が船でパナマに向かい、陸路パナマ地峡を越えて太平洋岸に至り、そこからまた船でカリフォルニアに行ったという。この人たちもパナマ運河を望んだのである。パナマ運河ができた頃にはゴールドラッシュも終わりかける。一方でパナマ運河により、貨客の輸送は格段に便利になり、パナマ運河は人々によく使われてきた。

一方の大河津分水は、1600年代の中頃、本間屋数右衛門が洪水の被害を軽減するために、大河津分水の建設を江戸幕府に請願したのが最初で、それから明治維新まで沢山の人が幕府に請願を繰り返し、明治の時期になると沢山の治水運動家が出て大河津分水の必要性を訴えて遂に大河津分水が建設されるに至ったのは良く知られている話である。

このようにパナマ運河と大河津分水とでは、目的が違っても、共に数百年の間の長い期間かけて、これは必要である、という声が絶えなかったということがとても大事であると思われる。真に必要な公共工事はこのように沢山の人の声が長い間かけて叫ばれるならば、必ずや実を結ぶのではないだろうか。この二つの事業の展示品作成の作業からそのように深く思ったものでした。

サケまつり

○日 時：平成30年10月14日(日) 11：00～12：00 ○場 所：信濃川大河津資料館前 ○参加者：150名

晴天で少し暑いぐらいの陽気となったサケまつりは今年も多くの方にお越しいただきました。信濃川の恵みの鮭と新米のおにぎりは大人はもちろん、小さなお子さんもぺろりと食べてしまうほどの美味しさだったそうです。皆さんから「美味しかったよ」「ごちそうさまでした」などの声を聞くことがスタッフ一同何よりの喜びです。今年は鮭が不漁だということだったので心配していましたが毎年ご協力をお願いしている魚沼漁協の中山さんのお陰で無事に開催することができました。そしてお手伝いいただいている女性スタッフの方々も朝早くから野菜切りやおにぎり作りなど大変な作業をしていただきました。ご協力いただいた皆さん誠にありがとうございました。



河川文化講演会 パナマ運河と大河津分水展示記念講演会 ～パナマ運河と大河津分水そして世界の歴史を変える大土木構造物～

○日 時：平成30年10月14日(日) 13:00～16:30 ○場 所：信濃川河川事務所 大河津出張所1Fホール
○参加者：108名

資料館特別展『パナマ運河と大河津分水路』の開催と同時に行われた今回の講演会は講師3名をお迎えし、お話をお聞きした。当初予定していた100名の定員を超える108名もの参加者で会場いっぱいになる大盛況ぶりとなりました。パナマ運河の実態や世界の大規模構造物について、そして二つの運河に共通する青山士という技術者について、沢山の興味深いお話をお聞きした後は資料館特別展を巡るツアーで締めくくりました。



パナマ運河展示講演会（英語）

○日 時：平成30年10月20日(土) 13:30～16:45
○場 所：信濃川大河津資料館2F多目的ホール
○講 師：早川 典生 理事長 ○参加者：11名

『パナマ運河と大河津分水路』展関連講演会を英語バージョンで開催しました。参加者は長岡技術科学大学の留学生が多かったです。なかなかない講演会ということで、熱心に聞き入っている様子が印象的でした。



信濃川大河津資料館 展示情報

秋の特別展

【期 間】平成30年10月14日(日)～12月16日(日) 【会 場】資料館2F
開館時間：9:00～16:00 休館日：月曜日（祝日の場合は開館。翌日が休館日）
入 館 料：無料

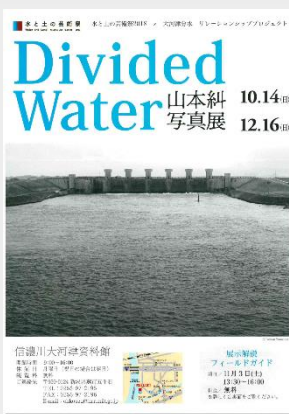


『パナマ運河と大河津分水路』

建設時期や掘削技術などパナマ運河と類似する大河津分水路。2つの工事の意外な関係と青山士をはじめとする技術者の情熱を実物資料やパネルで紹介します。

パナマ展示説明会 ◇第1回：平成30年11月17日(土) 14:30～15:00
◇第2回：平成30年12月15日(土) 16:00～16:30
展示解説を行います。申込不要です。当日、お時間までに資料館へお越しください。

主催：国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所 後援：燕市、長岡市寺泊支所
協力：NPO法人信濃川大河津資料館友の会



『Divided Water 山本糾写真展』

水と土の芸術祭2018×大河津分水リレーションシッププロジェクト

山本氏が撮影し、水と土の芸術祭で紹介された大河津分水や関屋分水の写真約10点を期間限定で展示します。その力強さや厳かさをぜひご堪能ください。

山本 糾（やまもとただす）プロフィール

1950年生まれ、香川県出身。

自然と人工の世界を日常から切り離し、モノクロームの写真で表現。2012年、豊田市美術館にて個展「光・水・電気」を開催。

主催：国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所 共催：水と土の芸術祭2018実行委員会 協賛：北陸地域づくり協会

大河津分水講演会2018

－我が国の河川計画、河川整備の在り方を巡って－
淀川から大河津分水まで過去取り組みから将来への備えまで

信濃川治水の先達とも言える淀川治水に深い造詣を有する京都大学名誉教授 中川 博次先生の特別講演を主に大河津分水講演会を開催します。多くの方のご参加をお待ちしております。

- ◆日 時：平成30年12月1日(土) 14:00～17:10
- ◆場 所：アオーレ長岡 西棟1F市民交流ホールA（長岡市大手通1丁目4番地10 TEL: 0258-35-1122）
- ◆参加費：無料 ◆定 員：180名

【プログラム】

- 14:00 開会
- 14:15 講演①『大河津分水路との関わりと、淀川、琵琶湖における河川改修の歴史を振り返って、および水工七訓から』
講師：中川 博次 氏（京都大学名誉教授）
- 15:40 講演②『洪水記録、雨量記録の過去・現在のデータと地球温暖化のもたらす影響の解析から、将来の洪水を描き出す』
講師：早川 典生 氏（NPO法人信濃川大河津資料館友の会理事長）
- 16:20 講演③『大河津分水路改修工事』
講師：田部 成幸 氏（国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所長）
- 17:00 閉会

【交流会】17:30～ 割烹 魚簾（長岡市表町1-10-6 TEL: 0258-32-1465） 会費：5,000円

※参加ご希望の方は11月25日(日)までに、事務局連絡先の電話・FAX・メールのいずれかでお申込みください。

友の会作品展

友の会会員の方の作品を集めた作品展を今年も開催します。見ごたえのある作品をどうぞご覧ください。多くの方のご来館お待ちしております。

また「ぜひ私も作品を出品したい!」という方も大歓迎です。事務局へご連絡ください。

- ◆期 間：平成31年1月末～3月
- ◆会 場：信濃川大河津資料館2F多目的ホール

庭木の剪定

今年2回目の剪定を行います。お手持ちの道具を持参してお集まりください。剪定くず集めをしていただける方も大歓迎です。ご協力いただける方は事務局までご連絡ください。

- ◆日 時：平成30年11月10日(土)
10:00～12:00
- ◆場 所：信濃川大河津資料館敷地内
- ◆道 具：手袋、剪定用具等ある方はご持参ください。
- ◆慰労会：剪定作業終了後、慰労会(昼食会)を開催します。

理事・監事の皆様へ

平成30年度 第2回理事会を開催いたします。理事・監事の方は出席をお願いします。

- ◆日 時：平成30年12月15日(土)13:30～15:45
- ◆会 場：信濃川大河津資料館2F多目的ホール
- ※パナマ展示説明会を行います（16:00～16:30）
- ※17:00より忘年会を開催します。会場は燕市内を予定しています。参加者には別途詳細をお知らせします。ご参加いただける方は事務局へご連絡ください。

【事務局連絡先】

〒959-0123 新潟県燕市大川津1215-7
TEL 090-2673-6596（事務局長）
080-9876-3683（事務局）
FAX 0256-97-3682
e-mail ohkouzu_tomonokai@yahoo.co.jp
<https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/>